

水道たきざわ

発行
2005.12.1

編集発行 滝沢村水道部 営業課 〒020-0192 滝沢村鶴飼字中鶴飼55番地
TEL019-684-2111 FAX019-687-3131
ホームページ <http://www.vill.takizawa.iwate.jp> Eメール eigyoun@vill.takizawa.iwate.jp

vol.1
創刊号



岩手山と新鬼越池

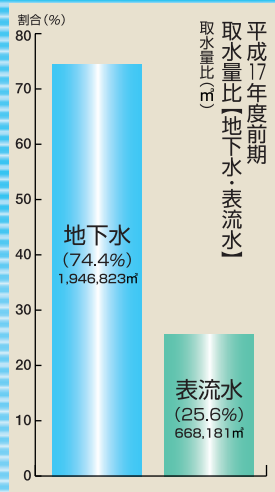
滝沢村上水道では現在、原水の約74%を姥屋敷及び柳沢地区にある深井戸の地下水でまかなっています。この地下水は、岩手山域に降った雨や雪が、長い時間をかけて、自然の力によってろ過された水です。とても水質が良いため、水道法で義務づけられている塩素消毒のみで供給することができます。

平成16年度におこなった調査によると、降雨や降雪によって地下へ浸透する水量は姥屋敷及び柳沢地区両方で、少なく見積もっても年間578万 m^3 と推定され、両地区あわせると滝沢村上水道の年間水道使用量の約2.4倍。また、地下に貯えられている水量は1億2千万 m^3 と推定され、およそ24年分の水量にあたることから、滝沢村はとても豊富な地下水に恵まれているといえます。これらの貴重な水源を村民のみならずと力を合わせて大切に保全し、未来の子供達に引き継いでいきたいと思えます。

岩手山がもたらぬ恵み

また、将来の生活用水を、岩手山の恵みである豊富な地下水のみで供給することは可能ではありませんが、災害や地下水汚染等のリスク分散、安定供給の観点から、一つの種類の水源に偏ることなく、表流水（河川水）を浄水処理できる施設が今後とも必要と考えています。

滝沢村の上水道は、降雨などで河川の水質が悪化した場合には川から取水を停止し、地下水による供給に切替えて運転することができ、いつでもこの地域でも、質の良い水道水が安定的に供給されるよう努めています。



姥屋敷第一水源

広報紙発行にあたって

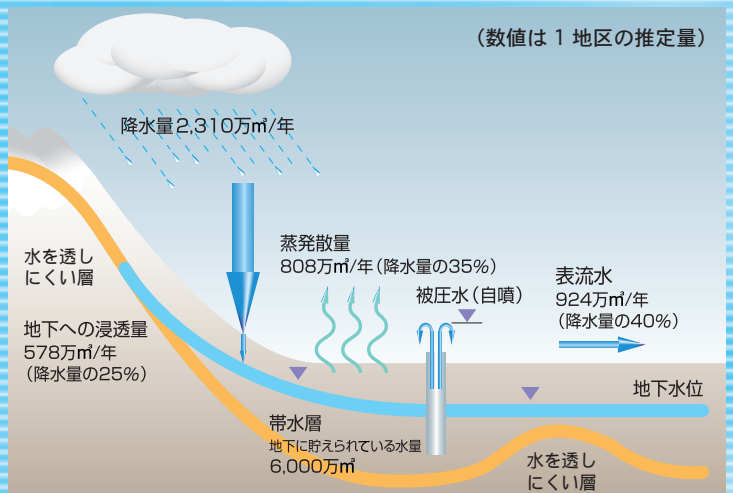
日頃は、滝沢村水道事業に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

昭和50年に給水を開始以来、おかげ様をもちまして30年を経過しました。これを機に、より多くの情報を皆さまにお届けするため、独自の広報紙を発刊することに致しました。いままでは、「広報たきざわ」により、水道に関するさまざまな情報を皆さまにお届けしてまいりましたが、紙面が限られているため一部の断片的な情報提供となり、多くの方々からお問合せをいただき大変ご迷惑をおかけしてまいりました。

今後は、多様な情報を見やすく、分かりやすく、役立つ広報紙を目指したいと考えておりますので、ご意見、ご要望をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

平成17年12月1日

滝沢村長 柳村純一



姥屋敷、柳沢地区の水の循環モデル図